

令和4年度のエソール広島の活動状況について

1 要旨・目的

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和4年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

2 現状・背景

「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）に基づき、エソール広島が、性別にかかわらず多様な選択をすることができる社会の実現に向けた個人や団体の活動・交流の拠点性を高めていくために、取組を着実に実施することが重要であることから、事業の実施状況や施設の利用状況等を取りまとめ、活動の検証を行うことで、今後の取組の充実・強化を図ることとしている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（詳細は別紙のとおり）

「わたらしい生き方応援プランひろしま」において、県が特に注力するポイント等に基づき、次の3点を重点項目として事業を行った。

実施に当たっては、社会のニーズを把握しながら、新たな利用者層の獲得や、参加者の気付きにつながるよう、内容の工夫や充実に努め、また、新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、オンライン等による受講機会を提供するなど実施方法等に留意しつつ取り組んだ。

<重点項目>

- (ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- (イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- (ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

ア 重点項目の主な取組

(ア) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革【一部新規】

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・性別による固定的な役割分担意識を解消するため、「男性の家事育児編」「学校生活とジェンダー編」「子どもとメディア編」の3テーマで、1回あたり10人程度の少人数・複数回のワークショップ「わた生きゼミ」を開催し、ゼミの内容を発信する取組を行った。 	
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで利用の少なかった30~40歳代の男性や大学生など若い世代が参加し、「固定観念への違和感を共有できて良かった」、「共感と新たな気付きが得られた」などの感想が寄せられたほか、その後のエソール広島での継続的な活動につながり、利用する層が広がった。 ・ゼミの内容については、新聞や雑誌等で取り上げられ、エソール広島や県のSNSやホームページでも発信したほか、参加者自身がSNSで投稿するなど、一定程度の発信はできた。しかしながら、閲覧数の伸びにはつながっておらず、限定的な効果に留まっている。【R5.6.20現在、Youtube 関連動画の再生回数：499回、エソール広島の関連ページの閲覧数：1,605回、新聞・情報誌等掲載回数：8回】 	

(イ) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化【内容拡充・一部新規】

内容	<p>・家族のことや職場の人間関係トラブル、将来への不安など様々な悩みに対し、電話相談・面談相談を実施し、必要に応じて専門機関につないでいるほか、コロナ禍等により深刻化・複雑化した相談が寄せられていることから、弁護士等による無料の専門家相談会を開催した。【相談件数 R3:1,934件→R4:2,275件（3ページの相談件数参照）、専門家相談会:年2回】</p> <p>・これまでの相談業務に携わる方を対象としたメンタルサポーター養成講座に加え、相談対応をするうえで必要性が高まっていた「聞く技術」や「専門機関と連携するための相談の知識と技術」を身につける支援者養成講座を開講し、困難を抱える方の支援の強化に取り組んだ。【支援者養成講座受講者：民間企業の相談窓口担当職員、スクールカウンセラー、相談支援事業所職員、NPO支援団体職員、訪問看護職員等79名】</p>
成果・課題	<p>・専門家相談会は、予約枠がすべて埋まり、相談者の満足度も高かった。引き続き相談内容等を踏まえながら、相談者のニーズに対応できるよう相談枠の拡充等を検討する必要がある。</p> <p>・支援者養成講座については、参加者から、グループワークやロールプレイ、事例研究が実務に役立ったなど、高評価を得ることができた。深刻化・複雑化した相談への対応のために、引き続き支援者のスキルアップと支援を担う人材の確保、併せて支援者を支えるしくみが必要である。</p>

(ウ) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり【内容拡充・強化】

内容	<p>・週に1日LGBT相談窓口を開設し、性別への違和感に関する悩みや性別変更の医療的な相談などを受け、必要に応じて民間支援団体等の専門機関につないだ。【相談件数 R3:234件→R4:210件（3ページの相談件数参照）】</p> <p>・相談の多い若年層の理解を進めるために、県教育委員会と連携し、県立高等学校における出前授業の実施校を拡充した。【R3:6校 797名 → R4:14校 5,242名】</p>
成果・課題	<p>・高校での出前授業においては、LGBT等の当事者で、かつ当事者の居場所づくりなどの支援に取り組む団体が自らの体験を交えながら授業を行うことで、生徒からは「性のあり方で生きづらさを感じている人がいることが分かった」、「世界中には、色々な愛し方があると分かったので、理解していきたい」などの感想が寄せられた。また学校からも、「普段教えることがない内容なので、良い機会をもらえた」「教員にとっても学ぶことの多い授業だった」と好意的な感想が寄せられ、LGBTを含む性の多様性について正しく理解し、より身近に考える機会を提供できた。</p> <p>・今後、性の多様性の理解が必ずしも十分ではないという社会課題を踏まえ、企業・学校等からの講座開催等のニーズの高まりに対応できる体制が必要である。</p>

(エ) 重点項目にまたがる取組（大学との連携【新規】）

内容	<p>・複数の大学との連携により、講義の中で学生がエソール広島の事業への提案発表を行ったほか、3名のインターンシップ生を受け入れ、学生が若い世代をターゲットとした新規イベントや動画配信に係る企画提案を行った。</p>
成果・課題	<p>・大学生が、企画提案を通して、ジェンダー平等への社会課題の解決策などを学ぶきっかけとなり、エソール広島の講座等への参加や、学生による交流イベントに繋がった。</p> <p>・こうした若い世代に向けた取組や情報発信を行うことにより、エソール広島の活動に巻き込み、エソール広島への参加を拡大していく必要がある。</p>

イ 利用状況

事業内容の工夫による新たな利用者層の獲得や、他機関等との連携等による出前授業の実施などのほか、新型コロナウイルスによる利用自粛要請がなかったこともあり、施設利用者数はコロナ前と同程度に回復した。しかしながら、県東部や北部からの参加が十分とは言えないため、引き続き、県内全域から参加しやすいセミナー等の実施方法の工夫など、利用拡大に向けて取り組む必要がある。

(利用者数)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比
施設利用者数	15,261人	13,279人	114.9%
（うちオンライン参加）	(2,423人)	(4,541人)	(53.4%)
外部施設で開催した財団主催 又は共催の講座等の参加者数	9,871人	3,223人	306.3%
合計	25,132人	16,502人	152.3%

(相談件数)

区分	令和4年度	令和3年度	対前年度比	
一般相談	電話相談	2,165件	1,833件	118.1%
	面談相談	110件	101件	108.9%
LGBT相談	電話相談	210件	234件	89.7%
	面談相談	—	—	—
合計	2,485件	2,168件	114.6%	

ウ 今後の取組

各事業の課題を踏まえた上で、G7広島サミット開催によるジェンダー平等や性の多様性に係る理解促進の機運等を捉えて、講座等のテーマを県民の関心が高いものとするとともに、SNSやメディア等を活用するなど訴求効果の高い広報を行いながら、重点項目の着実な推進に取り組む。

- 「性別にかかわらず『わたらしい生き方』を選択する意識改革」については、性別による固定的な役割分担に関する違和感や気付きを広く募集し、SNS等の媒体で効果的に発信することで、多くの県民の理解促進につなげられるよう取り組む。
- 「様々な困難を抱える方への支援の充実・強化」については、複雑な悩み相談に対応するため、専門家相談会の拡充や支援者同士がつながりあえるしくみづくりを進める。
- 「性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり」については、LGBT等の理解促進に携わる人材の確保・育成について検討を進め、県内全高等学校での出前授業や企業等からの研修受託を拡充する。

引き続き、立地環境の優位性を活かしつつ、事業内容の充実を図りながら、個人や団体が交流・意見交換し、自主的・自律的で活発な活動を行う施設としての拠点性を高めていく。

(3) スケジュール（実施期間）

令和4年4月～令和5年3月

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 事業効果・検証結果

—

令和4年度のエソール広島の活動状況について

（令和5年6月30日）
わたらしい生き方応援課

広島県女性総合センター（エソール広島）の令和4年度の活動状況について取りまとめを行い、その内容を報告する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

県が「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）において特に注力するポイントとして掲げる「性別にかかわらない自分らしい暮らし方の実現に向けた男女双方の意識改革」、「性の多様性の尊重と県民理解の促進」のほか、コロナ禍で深刻な悩みを抱える女性等への支援が必要であることから、次の3点を重点項目として事業を行った。

実施に当たっては、社会のニーズを把握しながら、新たな利用者層の獲得や参加者の気付きにつながるよう、内容の工夫や充実に努め、また、新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、オンライン等による受講機会を提供するなど実施方法等に留意しつつ取り組んだ。

＜重点項目＞

- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

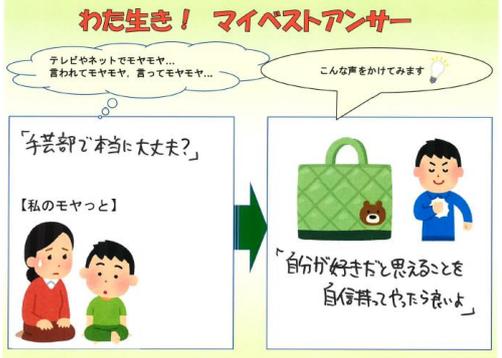
性別による固定的な役割分担意識を解消するため、令和3年度に引き続き、性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択できるよう意識改革を促すためのワークショップ事業を県と連携して実施した。

令和4年度は、前年度の参加交流型ワークショップで提起された課題等を踏まえ、6月のキックオフセミナーを皮切りに、9月からは「思い込みの解消が未来を拓く」と題し3つのテーマを設け、少人数・複数回の「わた生きゼミ」を行った。また、2月には3テーマ合同の発表会を行った。

「わた生きゼミ」では、参加者同士が性別による思い込みに対する違和感などについて意見交換を行い、県やエソール広島のホームページ・SNSのほか育児サイト等において発信する取組を行った。（R5.6.20 現在、Youtube 関連動画の再生回数：499回、エソール広島の関連ページの閲覧数：1,605回、新聞・情報誌等掲載回数：8回）

「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ」内容等

講座名	内容
(1) 「キックオフセミナー」 	日時：6/4（土） 対象：テーマに興味がある方全般 参加者：23名 内容：男性の育休取得、家庭進出の講演後、「林業女子に聞くお仕事トーク」、「育休パパのお困りトーク」などゲストスピーカーの体験談を踏まえて、ワークショップで受講者と意見交換を行い、セミナーのテーマと参加者を次のゼミナール形式のワークショップにつなげた。 （実施報告 HP 閲覧数：314件）

講座名	内容
(4) 「思い込みの解消が未来を拓く ～わた生きゼミ」 第3弾 「子どもとメディア編」	日時：1/7(土)、1/22(日) (全2回) 対象：子育て中の方 参加者：9名 内容：メディアが発信する男性像・女性像・家族像や、子どもに対する「男の子だから」「女の子だから」といった声かけについて、疑問や違和感を出し合い、子どもにこんな声掛けをしたいという発言のフリップを作成し、意見交換や発表を行った。 (実施報告 HP 閲覧件数：153 件、Youtube 再生回数：103 回)
【「わた生き！マイベストアンサー」を発信】	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>メディアが発信する子どもの将来の夢、男の子と女の子を分けてランキングする必要がある？</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>男の子なのに手芸部なんか入って大丈夫？と言ってしまったけれど、それは自分の思い込みだった！</p> </div> </div>	
(5) 「思い込みの解消が未来を拓く ～わた生きゼミ」 みんなの発表会	日時：2/18(土) 対象：テーマに興味がある方全般 参加者：22名 内容：わた生きゼミの3つのテーマの参加者が、それぞれのゼミの成果を発表するとともに、世間で言われる様々なジェンダー・バイアスについての発言やいくつかのお題をもとに、課題解決に向けて自分たちができることなどを話し合うグループワークを行った。(実施報告 HP 閲覧件数：333 件)

2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

家族のことや職場の人間関係トラブル、将来への不安など様々な悩みに対し、電話相談を実施し、その中でも複雑な悩みを抱えた案件などは面接相談に移行するとともに、必要に応じてこども家庭センターや医療機関等の専門機関につなぐ対応を行った。

また、コロナ禍等により深刻化・複雑化した相談が寄せられていることから、前年度に引き続き弁護士等による無料相談会を開催したほか、相談に対応するために必要な支援者のスキルも多岐にわたることから、支援者養成にも力を入れて取り組んだ。

(1) 相談会の開催

コロナ禍等により深刻化し、複雑化した相談が寄せられていることから、困難を抱える女性等のために弁護士等の無料の専門家相談会を開催した。

相談会	内容	バナー・チラシ等
エソール広島 無料相談会	日時：9/23（金・祝）、2/23（木・祝） 相談者：各日16組 内容：弁護士2名、臨床心理士2名による無料相談（事前予約制、1組あたり1時間）を行い、DVや離婚・子育て等の家族問題や職場でのセクハラなどに関する相談に対応した。	

(2) 相談業務（一般相談）※LGBT相談は、「3」の性の多様性についての項目で後述

電話相談と面接相談を合わせると2,275件の相談が寄せられ、前年度の1,934件を上回ったほか、健康、孤独など人生における不安や悩みに関する相談が増加した。

ア 相談件数

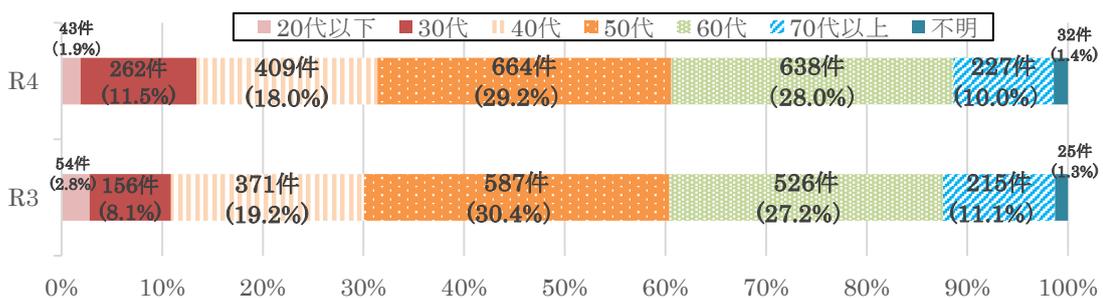
区分	電話相談※	面接相談※	計	対前年度比
令和4年度	2,165件	110件	2,275件	117.6%
令和3年度	1,833件	101件	1,934件	-

※電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く）、面接相談は原則、毎週金曜日

イ 相談内容

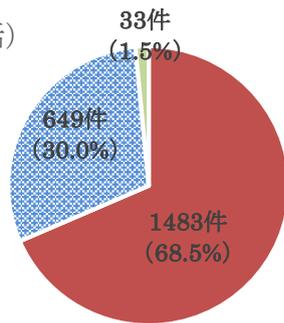
相談内容	令和4年度	令和3年度	対前年度比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること （離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など）	857件 (37.7%)	764件 (39.5%)	112.2%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること （男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブルなど）	539件 (23.7%)	514件 (26.6%)	104.9%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること （病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など）	772件 (33.9%)	525件 (27.1%)	147.0%
その他 （法律や福祉など様々な情報の収集など）	107件 (4.7%)	131件 (6.8%)	81.7%
計	2,275件 (100.0%)	1,934件 (100.0%)	117.6%

ウ 相談者の年代



エ 相談者の地域別件数

(電話)

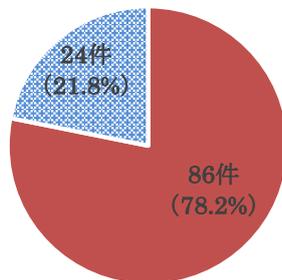


■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

【広島市以外の県内の件数】

福山市	60	三次市	3
東広島市	33	安芸高田市	3
廿日市市	30	庄原市	2
呉市	12	熊野町	1
府中町	10	不明	484
海田町	8	計	649
北広島町	3		

(面接)



■ 広島市 ■ 広島市以外の県内

【広島市以外の県内の件数】

東広島市	8	呉市	1
廿日市市	4	竹原市	1
熊野町	2	不明	5
府中町	2	計	24
神石高原町	1		

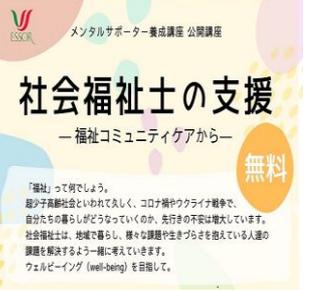
オ 専門機関との連携

専門機関	令和4年度	令和3年度	主な事例
警察	2件	5件	DV被害
医療機関等	4件	19件	ストレス等による心身の不調
行政機関（こども家庭センター等）	30件	45件	DV、性被害
弁護士、家庭裁判所等	27件	30件	離婚、相続
民間施設	6件	13件	心理相談
計	69件	112件	

(3) 支援者養成

対人援助に携わる方を対象とした対人支援技術のスキルアップや専門知識の向上のため、これまで実施していた相談業務に携わる方を対象としたメンタルサポーター養成講座に加え、相談対応をするうえで必要性が高まっていた「聞く技術」や「専門機関と連携するための相談の知識と技術」を身につける支援者養成講座を開講し、困難を抱える方の支援の強化に取り組んだ。

また、公開講座ではコロナ禍の中での問題等を取り上げたほか、問題行動の背景にある心理を理解し勇気づける方法や「困難女性支援新法」について学ぶ講座を開催した。

講座名	内容	チラシ等
①対人支援の技術	コロナ禍の中、困難を抱える方の支援体制を強化するため、人とかかわるうえで基本となる「聞く技術」や「専門機関と連携するための相談の知識と技術」を身に着けた人材を養成する講座を実施。 (支援者養成講座受講者：民間企業の相談窓口担当職員、スクールカウンセラー、相談支援事業所職員、NPO 支援団体職員、訪問看護職員等 79 名)	①  ③ 
②メンタルサポーター養成講座	相談業務や対人援助活動に携わる方を対象に、社会状況の変化や人間のこころの成り立ちを理解し、男女共同参画の視点を持った相談員を養成する講座を実施。	④ 
③「コロナ禍の中での子育て、高齢者介護問題」	コロナ禍で、孤立感、孤独感を深めている人が多い中、ケアする側やケアされる側がどのような状況に置かれているのかを考える講座を開催。	⑤ 
④「社会福祉士の支援」	コロナ禍で様々な悩みや生きづらさを抱えている方が増えていることから、福祉の専門知識を有する社会福祉士の支援について学ぶ講座を開催。	
⑤「女性支援の新たな扉が開かれる」	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律制定のポイントを学ぶ講座を開催。	
⑥「勇気づけるコミュニケーション」	子どもの問題行動の背景にある心理を理解し、その具体的な対応方法「勇気づけ」について学ぶ講座を開催。	

3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

「LGBT」という言葉や、性的指向、性自認に係る社会全体の認識が広がる一方、偏見や差別的な取扱いが顕在化するなど、性の多様性に対する理解が十分とはいえない。

このため、悩みを抱える幅広い年代の方が、最初に安心して相談できる公的な窓口として、週に1日 LGBT 相談窓口を開設し、性別への違和感に関する悩みや性別変更の医療的な相談などを受け、必要に応じて民間支援団体等の専門機関につないだ。

(1) LGBT 相談※

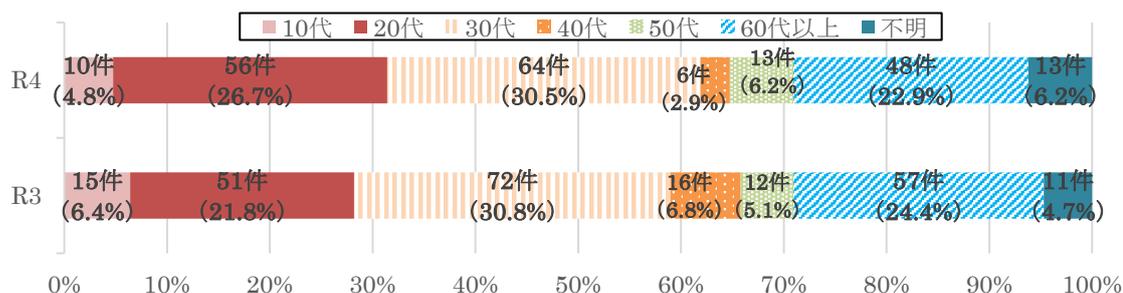
相談件数は前年度と比べて若干減少した。年代別では 30 歳代までの若い世代からの相談が全体の約 6 割を占め、前年度と同様の年代分布である。

※LGBT 電話相談は平成 29 年 10 月開設（開設当初は月 1 回）、平成 30 年 6 月からは毎週土曜日

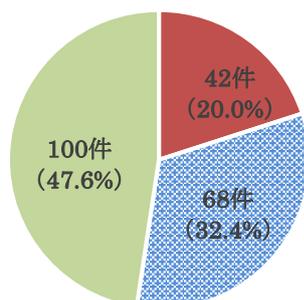
ア 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年度比
令和4年度	210件	-	210件	89.7%
令和3年度	234件	-	234件	-

イ 相談者の年代



ウ 相談者の地域別件数



【広島市以外の県内の件数】

尾道市	28	府中市	1
廿日市市	12	三次市	1
東広島市	8	海田町	1
呉市	2	不明	15
		計	68

■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明

エ 専門機関との連携

専門機関	令和4年度	令和3年度	主な事例
医療機関	4件	-	性別変更のための医療等
家庭裁判所等	1件	-	氏名の変更
民間支援団体	12件	10件	自分の性に違和感がある
計	17件	10件	

(2) LGBTの理解促進

LGBT相談の多い若年層の理解を進めるために、県教育委員会と連携し、県立高等学校における性の多様性等の出前授業の実施数を拡充した。

また、ジェンダーやセクシュアリティについて深く正しく学ぶ講座を開催し、得た知識を周りの人に伝授できる理解者や支援者を増やすための講座やイベントを開催した。

講座名	内容	チラシ等
① 高校生向け 出前授業 (LGBT)	性の多様性について正しく学ぶとともに、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。 (R3:6校、797名 → R4:14校、5,242名)	②  ③ 
② ビブリアフェス	LGBT関連図書をツールに、参加者同士が語り合い、性の多様性についての正しい知識を深めながら交流することを目的として、エソール広島の図書を活用したイベントを開催。	
③ LGBT スタディーズ「研究発表会」	「ジェンダー、セクシュアリティについて深く正しく学びその知識を周りの人に伝授する」を目的に、LGBTQ+・セクシュアリティ・ジェンダーに関する研究を実践した大学院生等8名による「研究発表会」を開催。	

4 複数の重点分野にまたがる取組等

特に注力した3つの取組のほか、ジェンダー平等等について考えるきっかけとなるよう、Youtubeで「生き方・働き方」「子育て・家事」「家族・高齢社会」「LGBT」の4つのテーマのセミナーを動画配信するとともに、県との共催により「みんなのDX研修～女性×デジタル～」や民間団体と連携してジェンダー平等を進めるためのセミナー等を開催したほか、学校からの要望を踏まえた出前授業の実施、大学連携などの取組を行った。

また、SDGsをテーマに全6回のエソールひろしま大学を開講し、多方面の専門家講師の講義を通して、背景や世代の異なる受講生同士が、意見交換し合い、身近な問題の解決策を考える取組を行った。

(1) 主催事業

ア 講座

講座名	内容	チラシ等
① エソールつながるトークリレー 【Youtube 配信】	「子育てにいかすポジティブ心理学」、「ヤングケアラーについて考える」等のテーマで1話 15～30分程度で分かりやすく解説したセミナー動画や、女性に対する暴力を考える月間に合わせてDVや性暴力について解説した動画をYoutubeに掲載。	①  ③ 
② エソールひろしま大学オンライン公開講座 SDGsゼミナール	SDGsのうち「ジェンダー平等」の目標達成状況などを踏まえ、SDGsの成り立ちや、SDGsがなぜ自分にかかわる問題なのかを学ぶ講座を開講。	
③ エソールひろしま大学	コロナ禍における女性の生活問題や、日本の難民政策などをテーマに、様々な視点からSDGsについて学び、予測不可能な時代を生き抜く力を身に着けるための講座を開講。	

イ 出前授業 計 32 回（うち県立高等学校連携 27 回）

高校生がジェンダー平等や LGBT 等について、正しく学び、考えるきっかけとするため、出前授業を実施した。

テーマ	回数	授業風景
LGBT【再掲】	14 回	
命の教育	14 回	
男女共同参画	1 回	
デートDV	1 回	
性的役割分担	1 回	
子どもの権利条約	1 回	

ウ 研修受託 19 件

パートナーシップ、LGBT、職場でのハラスメント、性教育などについての研修

(2) 共催事業 27 件

全国一斉女性の権利ホットライン、女性と政治参画など

(3) 大学との連携 4 件

連携先	連携内容	授業風景
安田女子大学	「公共経営学概論 I」見学実習において、男女共同参画の現状や、エソール広島の歴史・活動について講義、施設紹介を行った。	
広島修道大学	「生涯学習支援論 I」において、男女共同参画の現状やエソール広島の活動について講義を行ったほか、ジェンダー平等や性の多様性などをテーマに、学生がエソール広島を活用した事業を企画提案し、発表が行われた。	
広島大学	広島大学ダイバーシティ研究センターがエソール広島で「広島県ジェンダー&セクシュアリティのアンケート調査報告会」を実施した。	
叡啓大学	学生 3 名が、エソール広島でのインターンシップに参加し、「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ」の企画会議へ参加したほか、若い世代をターゲットとした新規イベントや動画配信等に係る企画提出などを行った。	

5 情報発信等の状況

女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架し、貸出しを行っているほか、ビブリオフェス（図書紹介・勉強会）などでも活用している。

また、ホームページなどでセミナーの案内や実施内容、施設利用について発信をしたほか、Facebook や Instagram など活用し、施設の利用案内や各種講座・研修の紹介をしており、ホームページのアクセス件数が前年度に比べて約 2 万件増加した。

第2 エソール広島の利用状況について

1 エソール広島の利用状況

(1) 利用者数

新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用定員を通常の60%に制限しているが、緊急事態宣言等による利用自粛要請がなかったため、利用者数は回復傾向にあり、前年度に比べて施設利用者数は全体的に増加した。特に、外部施設で開催した講座等については、高等学校への性の多様性等の出前授業の拡充等により講座参加者が大幅に増加した。

区分		令和4年度 A (割合)	令和3年度 B (割合)	対前年度比 A/B
施設利用者数		15,261人 (100.0%)	13,279人 (100.0%)	114.9%
うちオンライン参加		2,423人	4,541人	53.4%
内訳	研修室・交流スペース利用	13,280人 (87.0%)	11,723人 (88.3%)	113.3%
	うちオンライン参加	2,423人	4,541人	53.4%
	図書の貸出しや情報収集等での利用(フリースペース利用)	1,981人 (13.0%)	1,556人 (11.7%)	127.3%
外部施設で開催した財団主催又は共催の講座等の参加者数		9,871人	3,223人	306.3%
うちオンライン参加		78人	581人	13.4%
合計		25,132人	16,502人	152.3%
うちオンライン参加		2,501人	5,122人	48.8%

※利用自粛要請を行った期間：R3.5.8～6.20、R3.7.31～9.30、R4.1.9～3.6(163日間)

(2) 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は78.4%と、10.9ポイント上昇しているが、利用自粛要請期間を除いた期間と比較すると、6.7ポイント減少している。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和4年度	357日	280日	78.4%
令和3年度	357日(195日)	241日(166日)	67.5%(85.1%)

※()内は、新型コロナ感染拡大防止のため利用自粛要請を行った期間を除く。なお、利用自粛要請を行った期間内には休館日1日を含む。

(利用自粛要請を行った期間：R3.5.8～6.20、R3.7.31～9.30、R4.1.9～3.6(163日間))

(3) 研修室及び交流スペースの利用状況の分析

「研修室（2室の平均）」の稼働率は32.7%で、利用自粛期間を除いた前年度に比べて0.2ポイント上昇しており、交流スペースの稼働率は16.8%と、前年度を2.5ポイント上回った。

【研修室の稼働率（利用件数単位）】

区分	昼間						夜間		合計	令和3年度
	平日			土日			平日	土日		
	午前	午後	計	午前	午後	計				
研修室	35.1%	45.9%	40.5%	54.4%	63.7%	59.1%	8.0%	2.5%	32.7%	32.5%
交流S	14.5%	16.9%	15.7%	32.4%	54.9%	43.6%	0.8%	8.8%	16.8%	14.3%

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用自粛要請を行った期間を除く。

(利用自粛要請を行った期間：R3.5.8～6.20、R3.7.31～9.30、R4.1.9～3.6(163日間))

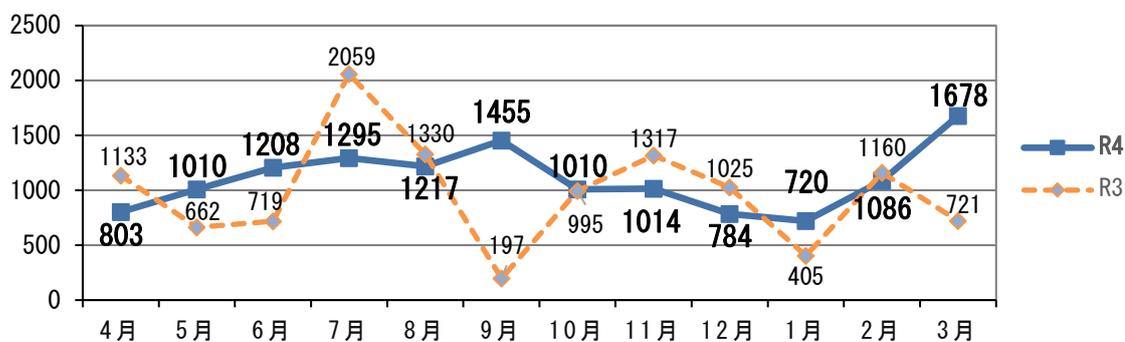
(4) 月別の利用状況

前年度は利用自粛要請期間があったため、月別に差が生じていたが、令和4年度は毎月700人を上回る利用があった。

※利用自粛要請を行った期間：R3.5.8～6.20、R3.7.31～9.30、R4.1.9～3.6(163日間)

【利用者数（月別）】

(単位：人)



(5) 団体区分別の利用状況

団体区分別でみると、企業等が4,800人(36.1%)で最も多く、そのうち利用形態別では、講座・研修での利用が64.9%と多い。登録団体等は4,142人(31.2%)となっている。

区 分	令和4年度 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	(利用形態)			令和3年度	対前年 度比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ		
登録団体等※	4,142人 〔31.2%〕 (100.0%)	2,340人 (56.5%)	380人 (9.2%)	1,422人 (34.3%)	3,161人	131.0%
企業等※	4,800人 〔36.1%〕 (100.0%)	3,117人 (64.9%)	554人 (11.5%)	1,129人 (23.5%)	3,443人	139.4%
行政	2,214人 〔16.7%〕 (100.0%)	1,217人 (55.0%)	116人 (5.2%)	881人 (39.8%)	3,994人	55.4%
男女共同参画 財団(主催事業)	2,124人 〔16.0%〕 (100.0%)	1,903人 (89.6%)	66人 (3.1%)	155人 (7.3%)	1,125人	188.8%
合 計	13,280人 〔100.0%〕 (100.0%)	8,577人 (64.6%)	1,116人 (8.4%)	3,587人 (27.0%)	11,723人	113.3%

※登録団体：ジェンダー平等の推進を目的としてエソール広島を利用して活動する団体等

※企業等：設立目的自体は男女共同参画の推進ではないが、ジェンダー平等の推進に関連して利用した団体等

(6) 登録団体の利用状況

利用促進の広報に力を入れたため、ジェンダー平等の推進を目的としてエソール広島を利用して活動する団体として、令和4年度に新たに19団体が登録し、令和5年3月末時点で89団体となった。

① 登録団体の所在市町別の状況

区 分	団体数 (新規)
広島市	78 団体 (15 団体)
広島市以外	11 団体 (4 団体*)
計	89 団体 (19 団体)

※東広島市(2団体)、廿日市市(2団体)

② 登録団体の利用状況

区 分	件数
職場等における女性活躍の支援 ・キャリアアップ支援 等	126 回
家庭における男女共同参画の促進 ・子育て支援 等	11 回
地域社会活動における男女共同参画の促進 ・地域における女性活動の支援 等	18 回
その他 ・ひとり親支援、健康支援 等	14 回
計	169 回

第3 評価と今後の取組

1 活動状況の評価

(1) 事業の評価

- 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

ゼミナール形式のワークショップでは、これまで利用の少なかった30～40歳代の男性や大学生など若い世代の参加が得られ、参加者からは、「固定観念への違和感について共有できて良かった」、「共感と新たな気づきを得られた」、などの感想が寄せられたほか、その後のエソール広島の継続的な利用につながり、利用する層が広がった。

ゼミの内容については、新聞や雑誌等で取り上げられ、エソール広島や県のSNSやホームページでも発信したほか、参加者自身がSNSで投稿するなど、一定程度の発信はできた。しかしながら、閲覧数の伸びにはつながっておらず、限定的な効果に留まっているため、様々な媒体を活用した発信を強化する必要がある。

- 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

専門家相談会は、予約枠がすべて埋まり、相談者の満足度も高かった。引き続き相談内容等を踏まえながら、相談者のニーズに対応できるよう相談枠の拡充等を検討する必要がある。

支援者養成講座については、悩みを抱える方の身近な相談相手として地域や職場などで対人援助に携わる人の養成に積極的に取り組んだ。参加者からは、グループワークやロールプレイ、事例研究が実務に役立ったなど、高評価を得ることができた。

今後、こうした支援者のすそ野を広げる必要があるとともに、深刻化・複雑化した相談への対応は多岐にわたっている。支援者自身も苦慮する場合があることから、引き続き支援者のスキルアップと支援を担う人材の確保、併せて支援者を支えるしくみが必要である。

- 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

LGBTについて、特に若い世代への正しい理解の促進が必要であることから、県教育委員会との連携による出前授業について、実施校を大幅に拡充して実施した。

LGBT等の当事者で、かつ当事者の居場所づくりなどの支援に取り組む団体が自らの体験を交えながら授業を行うことで、生徒からは「性のあり方で生きづらさを感じている人がいることが分かった」、「世界中には、色々な愛し方があると分かったので、理解していきたい」などの感想が寄せられた。また学校からも、「普段教えることがない内容なので、良い機会をもらえた」「教員にとっても学ぶことの多い授業だった」と好意的な感想が寄せられ、LGBTを含む性の多様性について正しく理解し、より身近に考える機会を提供できた。

今後、性の多様性の理解が必ずしも十分ではないという社会課題を踏まえ、企業・学校等からの講座開催等のニーズの高まりに対応できる体制が必要である。

- 情報発信等の取組

大学連携では、大学生が企画提案を通して、ジェンダー平等への社会課題の解決策などを学ぶきっかけとなり、エソール広島の講座等への参加や、学生による交流イベントに繋がった。

こうした若い世代に向けた取組や情報発信を行うことにより、エソール広島の活動に巻き込み、エソール広島への参加を拡大していく必要がある。

また、大学連携や講座の受講者の中には、今までエソール広島の存在を知らなかったと回答する者もいるなど、認知度が低いことが課題であり、エソール広島の様々な活動を広く県民に発信していく必要がある。

(2) 利用状況の評価

事業内容の工夫による新たな利用者層の獲得や、他機関等との連携等による出前授業の実施などのほか、新型コロナウイルスによる利用自粛要請がなかったこともあり、施設利用者数はコロナ前と同程度に回復した。しかしながら、県東部や北部からの参加が十分とは言えないため、引き続き、県内全域から参加しやすいセミナー等の実施方法の工夫など、利用拡大に向けて取り組む必要がある。

2 今後の取組

(1) 事業について

各事業の課題を踏まえた上で、G7広島サミット開催によるジェンダー平等や性の多様性に係る理解促進の機運等を捉えて、講座等のテーマを県民の関心が高いものとするとともに、SNS やメディア等を活用するなど訴求効果の高い広報を行いながら、重点項目の着実な推進に取り組む。

○ 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

性別役割に関する違和感や気づきを広く作品として募集し、SNS 等の媒体で効果的に発信することで、多くの県民の理解促進につなげられるよう取り組む。

また、「わた生きゼミ」等を通じて、エソール広島でジェンダー平等の活動・交流する個人や団体が増えるよう、意見交換や活動発表の場づくりに取り組む。

○ 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

専門家相談会については、受け入れ枠や専門家の枠を増やすなど、相談者のニーズに対応できるよう取り組む。

また、複雑な悩み相談に対応するため、支援者養成事業の充実により、支援者のすそ野を広げスキルアップを図るとともに、支援者同士がつながりあえるしくみづくりを進める。

○ 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

LGBT 等の理解促進に携わる人材の確保・育成について検討を進め、県内全高等学校での出前授業や企業等からの研修受託を拡充する。

○ 情報発信等の取組

必要な情報を入手しやすいようホームページの充実や SNS などを活用した情報発信を行い、エソール広島の活動をより多くの県民に知ってもらうよう取り組む。

(2) 利用状況について

立地環境の優位性を活かしつつ、事業内容の充実を図りながら、個人や団体が交流・意見交換し、自主的・自律的で活発な活動を行う施設としての拠点性を高めていけるよう、交通の利便性を活かした利用増を目指すとともに、県内どこからでも参加しやすいオンラインイベントの充実や市町での中継配信などの環境づくりにより利用拡大を図る。

参考

1 受講者の満足度・アンケート結果

(1) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

講座名	アンケート結果
① わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「キックオフセミナー」	満足度：82% 受講者の声： ・人により考え方や視点は様々で、仕事や家庭において他人と共働するに当たり、自分の固定観念に寄りすぎないことを改めて認識した。 ・育休制度の確立だけでなく、周りの人、個人の意識を改める必要があることを知った。 ・講演、ゲストトークの中で自分も気付いてないけど「やっつけてしまっている」と思うことがあり反省した。
② わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「わた生きゼミ」 第1弾 思い込みの解消が未来を拓く 「男性の家事・育児編」	満足度：100% 受講者の声： ・普段感じていてもなかなか言葉にできなかったことについて、共感を持って話し合えて良かった。「同じ思いを持つ人がいる」ということが分かったことも大きな収穫だった。 ・このような議論は初めてで、非常に参考になった。男性の育休が進むようなセミナーがこれから増えると良い。 ・とても面白かった。同じようなイベントがあれば参加したい。 ・3回では足りないほど充実したゼミだった。
③ わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「わた生きゼミ」 第2弾 思い込みの解消が未来を拓く 「学校生活とジェンダー編」	満足度：100% 受講者の声 ・自分の普段抱える「モヤモヤ」は正当なものだったと、自信が持てた。 ・堅苦しい感じではなく自分の思ったことを素直に話すことができた。 ・普段は話す相手を少し選んでいるようなジェンダー等に関する事柄をたくさん話し合えた。 ・気が付かないうちに受け入れてしまっているジェンダーに関する問題は数多く存在すると思う。広くアンテナを張り、問題意識を持ち、声をあげていきたい。
④ わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「わた生きゼミ」 第3弾 思い込みの解消が未来を拓く 「子どもとメディア編」	満足度：75% 受講者の声 ・TVCMなど、配慮されていると思っていたが、他の人の意見を聞いて、無意識の思い込みにより気付いていないところがあったと気付かされた。 ・メディアがテーマだったが、メディアを今時見えていないので、事例を集められなかった。 ・息子がいるが、世間一般のいう女の子の将来の夢であっても、子どもの意見を応援したいと思うようになった。

講座名	アンケート結果
⑤ わたしらしい生き方を選択するためのワークショップ 「わた生きゼミ」 みんなの発表会	満足度：100% 受講者の声： ・いろいろな世代、性別、立場の方の意見が聞けてとても勉強になった。 ・自分の固定観念がガチガチで、ジェンダー意識がまったく低すぎることを感じた。これを機に、ジェンダーアンテナを高くして磨いていこうと感じた。 ・女性らしく、男性らしくではなく自分らしくを大切にできる社会にしていきたいと思った。

(2) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

講座名等	アンケート結果
① エソール広島 無料相談会	満足度：100% 参加者の声： ・日々の方向性がわかったのが良かった。知人も子どものことで悩んでいるので、次回があれば教えてあげたい。 ・自分のことなのに、自分ではわかっていないことがあった。困りごとに対して解決方法を何個か示してくださったので、早速やってみようと思う。とても優しく丁寧に聞いてくださり、安心して相談することができた。
② 支援者養成講座 「対人支援の技術～ カウンセリングから 学ぶ～」	満足度：92% 受講者の声： ・相手を理解するためには、事実関係重視ではなく、感情体験重視で、相手の感情を認知して反射していくことが大切であるとわかった。現在行っている電話相談に活用するとともに、家族の生活にも生かしていきたい。 ・グループワークで自分にはないものを吸収することができた。 ・初めてのカウンセリングの勉強だったが、とても分かりやすかった。自分の伝えたいことを第一優先とせず、相手の立場に立ち、相手を知ろうとすることを大切にしていきたい。
③ 支援者養成講座 「対人支援の技術～ 専門家から学ぶ～」	満足度：84% 受講者の声： ・職場ですぐ使える支援技術について理解を深めることができた。また、敷居が高かった弁護士への相談がしやすくなった。 ・カウンセラーとして必要なポイントを改めて考えることができ、自分の聴き方をとらえなおすことができた。法的支援の立場から、どのように弁護士につないでいけばよいか、どのようなかわり方をしていけばよいかを学ぶことができた。そもそものメンタルヘルスの問題、自分自身の体の問題を知ることができ、性被害、DV、妊娠をめぐる現状を学ぶことができた。

講座名	アンケート結果
<p>④ エソール広島公開講座 「コロナ禍の中での子育て、高齢者介護問題」</p>	<p>満足度：84%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で、高齢者やひとり親が孤立して、経済的にも苦境に立たされていることがよく分かった。 ・ジェンダーの視点から見る介護、高齢者、シングルマザー等の問題は、現代的な問題であり、常に耳にしながら、漠然と考えがちな問題について、その実相、当事者の生の声を通して問題点を指摘され、深く考えさせられた。 ・誰の世話にもならないことが自立ではなくて、依存先の選択肢が多く、それぞれの依存度が浅いことが自立という考えが印象に残った。
<p>⑤ エソール広島公開講座 「社会福祉士の支援～福祉コミュニケーションから～」</p>	<p>満足度：93%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士が担う役割や活動の実態について知ることができた。 ・事例紹介がわかりやすかった。実際にどこにつなげていったのかの説明もされていたので参考になった。相談業務に生かせると思う。 ・私が思っていた以上に1人の人の生活を再起させることはたくさんの関係機関との連携が必要だと知った。社会福祉に今まで以上に興味を持つことができた。
<p>⑥ メンタルサポーター養成講座</p>	<p>満足度：90%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで学ぶことがなかった心理ケアについて情報を得ることができた。 ・このような機会が多くの人に開かれると、地域の共助につながると思う。 ・ロールプレイや事例を挙げての検討があつて、現場で働いている方のやり方、知見、考え方がとても参考・勉強になった。 ・今の仕事にとっても役に立った。支援する側、される側の両面の事例をみんなまで話し合う研修はよかった。
<p>⑦ エソール広島公開講座 「女性支援の新たな扉が開かれる」</p>	<p>満足度：95%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難な問題を抱えているだけでも大変だが、相談窓口など支援する制度にたどり着くことの難しさを感じた。 ・女性支援法の施行に向けて、何が必要か、課題等大変勉強になった。 ・今後の支援に向けてとても参考になった。支援が困難な方にも切れ目なく支援していく難しさを感じながらも大事なことだと再認識し、また頑張りたいと思う。
<p>⑧ エソール広島公開講座 「勇気づけるコミュニケーション」</p>	<p>満足度：100%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大変分かりやすい講座だった。 ・勝ち負けなどないようなコミュニケーションがとても大事だと思った。視点、まなざし、支援者として相手の成長を阻んでいるのではないか、自分自身に問いかけながら支援に携わりたいと思った。 ・カウンセリングをするうえでも子育てをするうえでも勉強になった。 ・子どもとの関係で悩んでいたのが、今回の講義はとても参考になった。

(3) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

講座名	アンケート結果
① 高校生向け出前授業	<p>満足度：73%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何事も固定概念に囚われてはいけないのだとわかった。性別は男と女の2種類ではなく、たくさんあって多様性があると学んだ。 ・性の在り方は社会が作っていて生きづらさを感じている人がいることが分かった。 ・男女で差をつけるのではなく、様々な視点から見るのが大切だと分かった。世界中には、色々な愛し方があると分かったので、理解していきたいと思う。 ・性についてあまり関心がなかったが、深く知りたいと思った。
② ビブリオフェス	<p>満足度：96%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が知らない本や漫画から様々なことを考えることができた。 <p>他の人から経験を聞くことができ、自分だけではないと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な世代、様々な背景・問題意識を持つ人たちと議論ができて楽しかった。皆、積極的に発言していて盛り上がりよかった。 ・とても有意義。本というツールを使うことで様々な問題が明確化されると思うので、ぜひ継続してほしい。 ・もっとオープンにこのような場が設けられたら良いと思った。
③ LGBT スタディーズ「研究発表会」	<p>満足度：86%</p> <p>受講者の声：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTに関する諸問題について、多様な視点から捉えた発表をしていただき非常に勉強になった。 ・研究発表を一般に公開するということがとても興味深かった。 ・発表内容を聞いていく中で、そのような考え方もあるのかと新しい視点や考え方を知ることができ、より興味を持てた。難しい問題ではあるが、自分にも何かできることがないか、どのような活動をしていくべきなのかより深く考えていきたい。 ・多くの方の研究を聞くことで、自分の知らなかった現在の実情を知ることができる有益な機会になった。

(4) 複数の重点分野にまたがる取組等

講座名	アンケート結果
① エソールひろしま大学オンライン公開講座 SDGs ゼミナール	満足度：86% 受講者の声： <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs について具体的にどのような取組を行っているのかが分かった。私にも今日からできる取組があったので実施したい。 ・SDGs には前進があったこと、その目標に向かって努力する中で生まれてきた課題が SDGs になっていることを学んだ。 ・SDGs の普遍性、包摂性、参画性、統合性、透明性、説明責任について丁寧に説明があり、より身近に感じる事ができた。
② エソールひろしま大学	受講者の声： <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs を考える際、つい数値目標や達成度ばかりに注目してしまうが、SDGs の究極の目標は「人の幸せ」であるという点は新しい視点であった。 ・参加者の意見交換の時間が多く、参加者の気付きや心に残った言葉などを聞き、それが自分の気付きにもなった。 ・毎回違った分野のエキスパートの皆様の素晴らしい講義を聞いてとてもうれしかった。自分の持続可能なやり方で、自分らしく幸せな生き方を見つけていきたいと思っている。

2 情報発信・蔵書貸出状況

(1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数：118,183件（前年度：100,553件） アクセスの多いページ（HOMEを除く）</p> <p>①施設案内・予約（7,779件） ②相談したい方（7,168件） ③エソール広島の概要（4,834件） ④講座イベント情報（3,882件） ⑤講座情報（3,358件） ⑥施設予約状況（2,805件） ⑦施設利用（1,998件） ⑧施設案内（1,638件） ⑨講師派遣（1,534件） ⑩第20期メンタルサポーター養成講座（1,420件）</p>
フェイスブック	<p>投稿回数：72回（情報数82件）（前年度：107回（情報数107件）） フォロワー数：717人</p> <p>主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（52件） ②イベント情報（共催事業）（5件） ③国・県情報（12件） ④図書紹介（8件） ⑤施設情報（5件）</p>
インスタグラム	<p>投稿回数：36回（情報数39件） フォロワー数：106人</p> <p>主な配信内容：①研修・イベント情報（財団主催）（15件） ②施設情報（5件） ③国・県情報（10件） ④図書紹介（7件）</p>
ライン	<p>投稿回数：36回（情報数37件） フォロワー数：86人</p> <p>主な配信内容： ①研修・イベント情報（財団主催）（16件） ②施設情報（1件） ③国・県情報（20件）</p>
メールマガジン	<p>配信回数：32回（情報数154件） （前年度：40回（情報数138件）） 登録者数：1,244人</p> <p>主な配信内容： ①研修・イベント情報（財団主催）（69件） ②イベント情報（共催事業）（14件） ③国・県情報（50件） ④図書紹介（11件） ⑤施設情報（4件）</p>


 最新の情報、載ってます！
Follow us!!
 
 Instagram facebook
 
 他にもいろいろ、やっています！
  
  

(2) 文献情報等

区 分		保有数	貸出数	
				令和3年度
一般図書	女性問題に関する図書、女性の活動を支援する図書	2,945 冊	399 冊	376 冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等	433 冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等	29 本	0 本	0 本